



みなと荘新聞

平成26年11月 第44号

今月の予定

《 11月16日～12月15日まで 》

11月	12月
15日・関記念榎の木会 文化祭	10日・お餅つき
18日・壬生北小学校生 福祉交流	25日・クリスマス 忘年会
27日・ミニドライブ	

園芸活動



今月の園芸活動はかかしを作りました。布で包んだ人形に顔を描き、集めた布切れで作った服を着せて、可愛いかかしの完成。服にも皆さんの個性が表れており、一つ一つ眺めるだけでも楽しい気分になります。



デイケア

『通所リハビリテーション』

みんなのぬりえ



色鉛筆のケースを開くと、皆様とても彩りよく塗り絵をして下さるので、その作品を少しでもきれいに、そして、皆様に見ていただけるように塗り絵の掲示コーナーを新しく設けました。

同じ絵でも塗る方の表現の仕方で全然違う仕上がりになり、見せていただく私たちも色遣いの素敵さにいつも驚かされています。

行事の様子

10月9日 さんま祭り



今月は旬のさんまを炭火烧。炭火烧したさんまは、脂がのって味は格別。骨が気になる方でも安心して召し上がることができるように、焼きあがったさんまを職員が丁寧に小骨をとりました。特別な日の特別な体験。皆さんの顔から「美味しい」という声が聞こえるようでした。



職員紹介

みなと荘 介護員 松本 憲子



両親が共働きだったこともあり、何をするにも祖父母が一緒でした。祖父母と過ごす縁側が大好きで、一緒にお茶を飲んだり、昼寝やお月見もしました。共に暮らしたことはかけがえのない思い出となっています。

それが、介護士を志すきっかけになりました。まだまだ未熟で失敗はもちろんのこと、先輩から教わることもしばしばですが、少しでも居心地のよい生活を送って頂けるよう、ご利用者一人一人に寄り添っていきたいと思います。

10月23日 ミニドライブ

今回のミニドライブでは、県立博物館に出かけました。その前に、まずは食事の時間。お寿司やお酒などそれぞれの好物を遠慮なく召し上がっていました。満腹したら、じっくりと博物館の作品を鑑賞しました。面白いものから奇妙なものまで色々。皆さん、興味深そうにそれぞれの作品を眺めていました。とても良い気分転換になったようです。



日常風景

みなと荘では、午前と午後にお茶の時間を設けています。お茶をしながら、ご利用者の皆さんがホールに集まり楽しい会話が繰り広がる時間でもあります。お茶にも、それぞれの好みがあり、熱すぎないように氷を入れたり、出すタイミングを考えたりと、職員としても楽しい雰囲気というものを考えられることが多いです。



編集後記



朝晩と日中の気温の差が大きくなり、みなと荘の周りの林も少しずつきれいに色付いてきました。北側には、栗やドングリがたくさん転がっていて、窓から眺める外の景色にたくさんの秋を感じるようになってきました。紅葉を眺めながらホールで過ごすひと時も、とても気持ちがよいですね。